

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

Kokolab.

隔月刊ココラボ通信

NO. 104
2023.August

完成現場報告 藤枝市 / 『シキウタの家』

自然と共に、
ここにしかない暮らしを楽しむ。



南からの外観。お店とリビングなどのパブリックスペースを木の外壁でつくり、寝室と子供室、水廻りをガルバリウム鋼板で仕上げている。平屋に一部2階のある伸びやかな外観となった。



東からの外観。お店側は出入り口の他に大きな木の窓を設けた。お店がオープンしたら屋外スペースも利用して、お店と繋がった利用が出来ればと考えている。

しい気持ちになる心地の良い土地だと思いました。Mさんは数年前から同じ地域に暮らし、周辺の方との付き合いもあり、何よりこの地域をとてん気に入っていました。土地の環境に加え、Mさんご夫婦の趣味はサーフィン。お二人とも海が似合う自然体の方で、住まいもライフスタイルに合わせた開放的な空間を提案したいと思いました。また、将来はこの場所でお店を持ちたいというのがお二人の夢。この地に暮らし始め、地域の子供たちの居場所がだんだんと少なくなっている事を考え、子供も大人も気軽に立ち寄れるお店をつくりたいと考えていました。いろいろとお話を聞かせていただきました。Mさんご夫婦には、屋内も屋外も、またお店スペースも境が少なく、自由に行き来できるプランが良いと感じました。木の床も捨て難いけどソファに使える土間の床を提案し、そのまま採用いただきました。床が土間で無機質な分、壁と天井はなるべく木を多めに使った、木と土間でつくられた空間が出来ました。土間床は夏の気持ち良さに加え、冬は太陽の日射を蓄えて保温性能があり、大きな窓から光が差し込み、ポカポカと気持ち良い室内になります。また、土間床に薪ストーブを設置し、汚れなどを気にしないでガシガシ使えるのも魅力です。薪ストーブはクッキングストーブを選び、Mさんのライフスタイルに合った楽しいリビングになりました。

大きな窓と吹き抜けのある土間リビング空間。土間床は固く冷たいイメージだが、夏は冷やっと気持ちよく、冬は太陽の熱を蓄えて室内を温めてくれる。土間床がダイニングキッチンからお店空間に繋がって、空間を広く見せている。

完成現場報告
藤枝市『シキウタの家』
文・写真／コロボ 山崎健治

自然と共に、 ここにしかない暮らしを楽しむ。

山に囲まれ、自然豊かな地域に建てたMさんご家族のお宅は、ライフスタイルと将来の夢を取り入れて、土間リビングを中心とした開放的な住まいとなりました。家の一部に土間スペースを取り入れる方は増えてきましたが、リビングやダイニング全てが土間というケースはなかなか珍しく、私も初めての経験となりました。Mさんご夫婦と初めてお会いしたのが今から2年半程前。お問い合わせをいただき、『こらほの家@島田』を見学していただきました。家づくりを考え始め、同時に土地についても候補があるとの事で、コロボのつくる木の家の特徴をはじめ、土地の事についてもいろいろとお話をさせていただきました。候補に上がった土地は、数年前に当社で建築を行ったお宅の隣の土地という事で私もよく知っている場所でした。自然に恵まれた場所で景色も良く、その場に立つと清々





ダイニングテーブルは造り付け家具として製作した。通常は家具屋さんなどで購入するケースが多いが、位置が決定している場合は壁に取り付けることも増えてきた。



キッチン内部。天板スペースを広く確保し、作業性を重視したキッチンとした。写真では見えていないが、冷蔵庫やパントリー、レンジ台も作業動線を考慮して配置し、使いやすいキッチンとなった。



ダイニングから大きな窓を通して周辺の山並みを見ることが出来る。光や風景、毎日違った姿を見ることが出来、暮らしに変化が生まれる。

機能とデザインの格子網戸

土間は、リビング↓ダイニング↓キッチン↓お店へと繋がります。ダイニングには屋外へと繋がる大きな窓を設けました。テーブルから豊かな景色がいつでも眺められ、気軽に庭に出ていけるので、庭で遊んだり薪割りをしたりと、屋外と屋内が一体となった暮らしを楽しんでいるようです。大きな木の窓はコロボの定番ですが、窓にプラスして、防犯対策や目隠しにもなる木の格子網戸も提案しています。格子の太さやピッチは様々なタイプがありますが、Mさんのお宅では、少し太めの格子としました。室内からは外の景色が良く見え、室外からは、日中ほとんど室内が見えませんが、また、格子がある事で日射しを遮る事も出来、天気や気分次第で格子網戸を開け閉めしながら調整出来ます。Mさんのお宅は、周辺からの視線はあまり気にならない敷地条件のため、格子窓がカーテンの役割にもなっていて、板塀や植栽を組み合わせて快適に暮らしているようです。格子は日本の建物で昔から使われてきた意匠で、窓の外に格子をつけて、様々なデザインで日本の住まいをつくってきました。コロボでも格子の太さやピッチを変えたり、横や縦のデザインにしたりと楽しんでいきます。今回は建具として格子を提案しましたが、防犯を兼ね、通りに面した窓の外側に設けるのも良いと思います。

作業性の良いキッチン

キッチンはL型で作業スペースが広いのが大きな特徴です。横に流れる動線で、コンロやシンクの横に広いスペースを設けました。住宅用のキッチンとしては少し大きめですが、これは将来のお店をイメージして大きさや形などを決定しました。キッチンはお店側に対して対面配置とし、反対側にテーブルをつくる事でどちらにも動きやすくしました。キッチンの周辺には、レンジ台やパントリーも設け、冷蔵庫も大型タイプが置けるスペースを確保しました。キッチンの配置や動線は、お店との関係や動きやすさを考えて設計しましたが、なかなかのリアケースなので最終決定まで苦労しましたが、キッチンで作業している姿を見ると、上手くまとまって良かったと思います。ダイニングのテーブルは、タモの無垢板の造り付けテーブルとしました。テーブルは動かしたりする事もあるので造り付けは珍しいと思いますが、Mさんのお宅では、もうこの位置しかない！とみんなで見解が一致し、固定のテーブルとしました。先日伺った時は、ドライフラワーや、色々なキッチン道具も飾られ、使いやすく、見た目も楽しませてくれるキッチンになったと思います。これからお店の計画と合わせて変化していくと思いますが、長く快適に使っていただくと嬉しいですね。

家づくりと小さなお店

—スキルを活かして新しいライフスタイルをつくる—

今回ご紹介したMさんのように、家づくりと合わせて小さなお店スペースを計画したいというケースが増えてきました。お店の内容は色々ですが、お菓子屋さんやカフェ、予約制の美容室や子供向けの英会話教室など、様々なケースでご相談があります。すでにお店を持っていて、家づくりに合わせて住まいと一緒にしたいとか、新しく起業して、これからのライフスタイルとしてお店を持ちたいなど、家づくりをきっかけとして、このチャンスに夢を形にしたいと考える方が多いと思います。家の中にスペースさえあれば、あとはお店を始める時に考えたいと思う方もいますが、住宅とお店などの用途を併用する事は、地域や法規的に難しい場合があります、また、飲食を伴うお店や美容室などは、保健所の規定があり後から許可が下りなかったというケースもよく聞かれます。スキルを活かした起業や、第二の人生の楽しみとして住まいの中にお店をつくる事はとても良いと思います。当社でお店をつくられたお客さんも徐々に増え、現在も楽しみなお店を計画しています。ご希望の方は、家づくり相談会など際に是非ご相談ください。木の空間を活かしたお店を提案していきたいと思います。

テンテンカシテン (焼き菓子販売と喫茶)



家づくりと合わせて、焼き菓子販売と喫茶の出来るお店を計画しました。小さな頃に地域に当たり前にあった近所の駄菓子屋さんや酒屋さんなど、活気があって、地元の人が集まって交流している姿が記憶にあり、いつか自分もお店を持ちたいと考えていたと伺いました。元々は焼き菓子販売を中心に考えていたお店も徐々にメニューが増え、その個性的でおしゃれなメニューが話題となり、人気のお店になっています。

murmur design (予約制美容室)



今春に新しくオープンした自然派の美容室です。ご主人も自宅の一部に事務所を構え、ご夫婦共に一つの建物の中で仕事をしています。元々美容師としてお店に勤めていたけど、自らの感性で発信していきたいと考え、セミナーや教室などを受けてお店をオープンしました。大きな窓から眺める景色も素晴らしく、木の空間と共に心身共に安らげる店内となっています。基本的に一組だけの営業なので、店主との会話も楽しみながらリラックス出来る美容室として、クチコミで徐々に広まっています。



お店スペースから広間側を見る。お店にはカウンターを設け、お客さんとの対話を楽しめる配置とした。梁の上に掛かったサーフボードが印象的。



お店の玄関として設けた出入り口スペース。プライベート空間との境に杉型枠で製作したコンクリートの壁を設け、来客からの視線を遮っている。

将来の夢のために

Mさんは将来この家で小さなお店を始めたいと考えていたため、家づくりに加えてお店づくりの準備をすることを決め、設計段階から計画していきました。お店として設けた部分は、7.5帖のスペースとお客さん用トイレ、そして専用の出入口です。コンパクトなお店ですが、少人数のアットホームな雰囲気になればということで、カウンター席とテーブル席を確保出来る広さとなりました。お店と言っても色々なスタイルがあり、特に飲食店は衛生面のルールが厳しく、調理室の天井形状や手洗器の設置、調理室とお店スペースの関係など、建築的にも決まりがありますが、設計段階では最終形をイメージして計画し、準備しておかないといけない部分は初めから設計のプランに入れて進めていきました。先日お伺いした時は、そろそろお店の準備を始めたいと話していました。Mさんの中ではイメージが膨らみ、メニューなども決めているようです。生活と仕事が一体となった暮らしは簡単ではないと思いますが、一軒の家の中に色々なスタイルを持つ暮らしは、自由な発想で広がりを持ち、人が集まり、子供たちの感性も大きく育っていくと思います。現代は多様性の時代。色々とチャレンジして、より豊かな暮らしを見つけていって欲しいと思います。



家が完成して一年半。新しい家の暮らしはだんだんと慣れてきた様子。これからは庭の計画やお店の事など、徐々に自分たちの夢を広げていってほしいと思います。

木に包まれた空間に、 様々なアイテムを組み合わせる。

Mさんのお宅は板倉の壁を中心に、家の壁のほとんどが木でつくられた空間になっています。木の利点を生かし、優しくあたたかな空間をご紹介します。



キッチン内部からダイニング窓を見る。料理をつくりながら外が眺められるのもいいですね。お庭に畑をつくったら、すぐに取りに行けて便利そう。

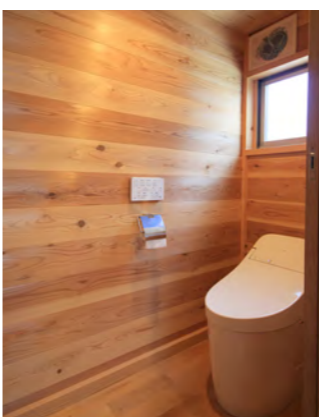


土間に設置した薪ストーブ。住宅用としては少し大きめで、クッキング用のオープンが付いている。



杉板型枠のコンクリート腰壁。近くで見ると杉の木目がくっきりと浮かび上がり、優しい風合いの壁になった。

仕様内容	
家族構成	家族4人
敷地面積	555.47㎡
建築面積	95.92㎡
延べ床面積	107.66㎡
構法	落とし込み板壁構法
屋根	ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺き
外壁	ガルバリウム鋼板角波タテ貼、杉赤本実目透かし貼り
外部建具	木製オリジナル建具 杉赤、桧(ペアガラス)、アルミサッシ(ペアガラス)
天井仕上	杉本実張り 厚12mm
壁	落とし板現し、杉本実板
床	杉本実板・青森ヒバFJ本実板
内部建具	木製オリジナル建具
キッチン	ステンレスヘアライン 天板オリジナルキッチン
洗面化粧台	オリジナル洗面化粧台
浴室	オリジナル浴室 (壁・天井：青森ヒバFJ、床：ハーフバス)
竣工	令和4年3月



木に包まれたトイレ。一帖サイズの基本的なトイレだが、一枚一枚の木の個性があり、見ていて飽きがない。



カウンターは、ボウルと一体型にしたオーダーメイドで、扉や引き出しを取り付けたオリジナルの洗面化粧台。



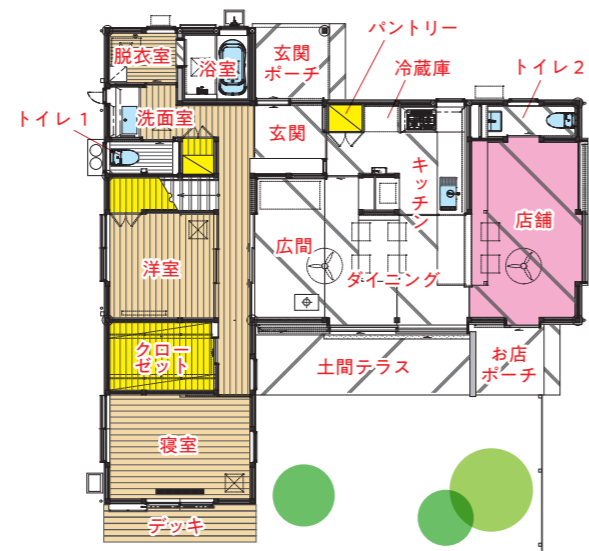
ハーフバスと青森ヒバを組み合わせたココロボ定番の浴室。入浴のたびに香りが良く、心身共に休まると人気。



ソファコーナーの壁に飾った鹿さん。ちょうど薪ストーブの前になり、火の守り神として見守ってくれている。



2F 平面図



1F 敷地平面図

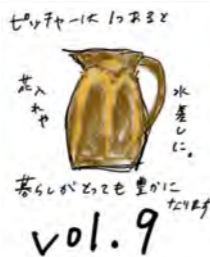
ここにしかない暮らしを楽しむ

設計段階や工事期間中に何度となく訪れたこの場所ですが、山に囲まれた景色や開けた雰囲気がとても気持ちがよく、いつも心地よい清々しさを感じます。景色の綺麗な場所は色々ありますが、その場所ごとで雰囲気の違い、空気感や印象も全く違います。今回家づくりをさせていただき、この場所やMさんご夫婦に馴染む住まいを考えていきました。元々海も山も大好きなお二人で、自然の中での様々な恵みを活かした暮らしに魅力を感じていました。また、その中で生活していく知恵や工夫などを身につけていき、喜びも大変さも受け入れて暮らしていきたいと話していました。

住まいが完成して1年半が過ぎ、Mさんの暮らしはすでにこの家や地域に馴染み、自然の恵みを活かした楽しみや、地域の方々や友人と楽しい時間を過ごしているようです。人それぞれに合った暮らしがあり、仕事や家族の関係で選択肢が限られている方も多くありますが、今回ご紹介したMさんの暮らしのように、生活と自然が一体となった暮らしも選択肢のひとつとして参考にしていただき、今後の家づくりのヒントを見つけていただくと嬉しいです。

Mさん、ハチミツとても美味しかったです。お店のオープンも楽しみにしています。

私の好きな 愛い道具たち vol.9



うつわ暮らしの道具テクラ
店主 宮入由起

静岡市葵区で中仕事の品々を
みなさまにお届けするお店を営んでいます。主人と
2人の娘の4人暮らし。夢は旅をしたから絵巻を巻く
旅日記を出版すること。仕事を喜びを染むがモットー



みなさん、こんにちは！テクラの宮入由起です。

今回もテクラで大人気の作り手さん
熊本の小代焼ふもと窯 井上尚文さんの
うつわのご紹介をさせて頂きます。尚文さんの

作品は、毎年展示会をさせて頂いて
おり、「尚文さんのうつわが使いやすくて
一番好き！」というお客様も多いです
軽く、使いやすくて、どんな料理も似合う
洗った後のうつわの裏もすき、というお声
いらしゃいます。尚文さんは、熊本で日常使いしやすいうつわを
相違なく毎日、作られています。みなさんの食器棚の1番前に
器が置いてあるように、中仕事の器の良さをよく知っています
という気持ちの持ち主です。中仕事のハードルがぐんと下がっ
たら、使いやすくて、デザイン、そして「食卓が」とにかく
楽しくなるような、華やかなモノづくりをさせていただきます。
テクラでは11月に展示会の予定をしています!!!
店内の11月に尚文さんのうつわが届く予定です。楽しみです!
窯の中で焼けてしまったり、何をご紹介できるか、まだわかりませんが
ご縁のあったものをご紹介させて頂きます。テクラでは2023年2月
1番うつわをご愛用頂き貴重な展示会です。インスタなど
チェックしてください。

オーブン、電子レンジ
OKです!
お湯を
煮込みに
使いたく
なると
「クラン」
もおすすめ!

尚文さんの器のご紹介

スリッポウカップ
サイズもいろいろ
ありすぎ



イギリスの1700年代から盛んに作られてきた
技法、バーナードリーチ氏により、日本各地で
伝授され、現在も日本各地で作りつづ
けています。スリッポウとはクマムシの
北米産土のこと。

マグカップ
口当たりの良さ、丈夫さ、
パランスがとにかく最高です
私は出張時の入院の際、
助産師さん持ち込みました。大正解
です!

飯碗
軽くて持ちやすい
人気の定番品

5寸金鉢
我が家には
ほぼ毎日使う器、
お湯、お茶、鍋の取り金鉢に
おすすです

どんぶり
デザイン
に
おすす
です



とにかく
強くて
作り方
すごい方
です!!

11月も元気いよいよ尚文さんです

うつわ
暮らしの道具
テクラ

Instagram @tekura_miyairi
@tekura2013yk(私)
@miyairiyuki(イラスト)

静岡市葵区大岩1丁目1-25
054-246-2856

OPEN: 13時~17時
CLOSE: 火・水 其他有

美容室 mur mur design



髪は、日本の四季のように、
いろいろな私を巡らせます。穏
やかな春の日、うだるような
暑さの夏の日、澄み渡る空気
がさわやかな秋の日、寒さが
凜とする冬の日。どんなとき
にも寄り添い、髪ニュエーショ
ンを通して、あなただけの心
地よい murmur (いい塩梅)
を届けたいと思います。まだ
まだ途上ですが、髪の施術と
共に、ハーブや食べものを育
て、ここに来たら、何かを感
じてもらえる、そんな美容室
を目指しています。

[住 所] 藤枝市立花1-13-2
[OPEN] 9:00~18:00(ご予約優先)
[定休日] 日曜日
[S N S] Instagram: @murmurdesign_risasono

★ご予約・お問い合わせはLINEにて
お願いいたします。
LINE ID: <https://lin.ee/cGF3eql>



花屋 Pépiement (ペピマン)



島田駅前(北口)の花屋
Pépiementです。Pépiement
はフランス語で「小鳥のさ
えずり」。ピーチクパーチ
クなんだか楽しそうに皆が
集う、そんな店にしたいと
Pépiementと名付けました。
小さな店ですが切り花から鉢
植えまで、日常にちょっとした
彩りと癒しを与えてくれる
可愛くて個性なお花やグ
リーンを取り揃えておりま
す。何でもない毎日を植物
たちのエネルギーでキラキラ
輝かせてより楽しいものに
して頂けたら嬉しいです。

[住 所] 島田市栄町2-11
[TEL] 0547-34-4351
[OPEN] 11:00~18:30(日曜・祝日 18:00)
[定休日] 月・火曜

[S N S] Instagram: @pepiement05



「ココラボ設置店」より...



「KoKolab」
Facebook ページ



Instagram
@kokolab.ie



KoKola.b.

隔月刊 ココラボ通信 No.104
2023年8月発行

発行人 有限会社こころ木造建築研究所
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1047-2

TEL : 0547-54-4556

FAX : 0547-54-4557

http://www.kokolab.jp

E-mail : office@kokolab.jp

担当

山崎良江(「ココラボ通信設置店より…」担当)

編集 … Branch 村上幸枝

印刷所 … 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や
コピーを禁じます。



[購読を希望されます方へ]

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、
E-mailのいずれかでお申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円

(上記料金は発送費として頂いております。)

※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の家造り
を行っている設計事務所です。隔月発行の『ココラボ通
信』、また『こころばスクール』やイベントなどを通し、住
宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

編集後記

梅雨が明けて一気に気温が上昇。毎日暑い日が続いて
います。夏の現場は大変で、炎天下での仕事は職人の
体力と気力を奪い、見ている方も心配になります。そ
んな中でも頑張ってくれる職人には感謝ですが、休憩
時間に差し入れを持って行き、共に日陰で風を感じたり
、冷たい飲み物を飲みながらのひと時はなんとも言
えず心地よいひとときです。年明けから進めていた3
軒の住宅がよいよ完成となり、夏からは新しい家づ
くりも始まりました。まだまだ夏はこれからが本番で
すが、職人と共に汗を流しながら、家づくりを楽しん
でいきたいと思えます。

(山崎健治)



Information

🏠 島田市『ひまりの家』完成現場見学会を行います。

核家族で小さく暮らす家づくりが多い中、2世帯+αの大家族の住まいを計画しました。家族の絆を大切にしたいMさんの住まいは、大きなリビングを中心に、両親のスペースは収納を充実させ、若世帯はプライバシーを考えつつも開放的な空間をつくりました。来客や家族の帰省を考え、玄関収納や客間も広く確保しています。みんなの要望と工夫の詰まったMさんのお宅を是非ご覧ください。

◆ 日時：2023年9月下旬(土・日) 10:00~17:00(予約制)

※詳細日程はHP、またはSNSでご確認ください

◆ 場所：島田市

🏠 静岡市『凜の家』構造現場見学会を行います。

土地探しから家づくりを行ったSさんご家族のお宅。住宅地でありながらも角地の開放的な土地に出会い、伸び伸びと気持ち良く暮らす木の家を計画しました。大きな吹き抜けやアイアンのデザイン階段、造り付けのソファなど、ワクワクする工夫がいっぱいのお宅になりそうです。今回は建築途中を見ていただく見学会ですが、完成をイメージしながら内部をご案内したいと思います。

◆ 日時：2023年10月上旬(日) 10:00~17:00(予約制)

※詳細日程はHP、またはSNSでご確認ください

◆ 場所：静岡市

※見学会の詳細情報はココラボホームページ [http://www.kokolab.jp] でお知らせします。

※コロナウィルスの影響により、開催の変更がある場合があります。ホームページにてご案内いたします。

木の家相談会 & 『こころばの家』オープン日

毎月 第1土・日開催

当社では、毎月第1土曜・日曜に、「木の家相談会」と「木の家常設展示場見学会」を行っています。現場見学会などで実際の建物を見ることは出来ませんが、生活をイメージしたり、ゆっくりと座って話を聞くことはなかなか難しいものです。家づくりが具体的で無い方も、またリフォームを検討している方も、まずは一歩踏み出して、実際の木の家に触れたり話を聞いてみてはいかがでしょうか？ きっと今後につながるヒントが見つかると思います。

◆ 木の家相談会

家づくりは何から始めたらいいの？ と相談される方が多くいますが、家族構成や敷地条件などによって様々な入り口があります。また私たちが行っている木の家は、木材をはじめとした自然素材の使い方によっても建物の性能や雰囲気が変わっていきます。木の家相談会では、経験豊富な建築士が個別相談を行い、一人一人に合った、様々な問題について相談を受け付けています。家づくりは一歩踏み出すことから始まります。この相談会を利用して気軽に何でもお訪ね下さい。

◆ 木の家常設展示場オープン日

『こころばの家』見学

2つの『こころばの家』は、同じ木の家ではありますが、それぞれ違ったテーマでつくられています。敷地環境や家族構成、空間のつくり方や素材の選択など、自分たちに合った暮らしを探す中で参考になればと思います。毎月第1土曜、日曜をオープン日とし、展示場を見学していただく事が出来ます。ホームページ内の申し込みフォーム、またはお電話でご予約下さい。

◆ 日時：10月14・15日(土・日)

11月4・5日(土・日)

10:00~17:00(予約制)

◆ 場所：『こころばの家@静岡』

静岡市駿河区新川2丁目5-29 電話：054-270-7658

『こころばの家@島田』

島田市東町1370-4 電話：0547-54-4556

